

実践報告書

支部名 福井支部

氏名 煙谷 惇

部門・テーマ

部門 : (2) 実践報告部門

テーマ : 『事務ツール作成による業務の効率化』

課題設定の理由

働き方改革が叫ばれている中、学校現場における仕事の量はなかなか減少しない。そればかりか、教育現場に求められるニーズが多様化している。このような状況において、素早く業務改善につなげられることはないかと考えたときに、事務ツールで業務の効率化を図ることを考えた。

課題への取組み

① 自分自身の業務の効率化

平成30年度の県事研春季研究会にて、福井市啓蒙小学校の深井さんが発表されていた「業務日報」を参考に、自分なりの業務日報をつけることにした。普段はToDoリストのように使用し、年度末には事務引継にも活用している。自分の業務に見通しを持つことや余裕をもった計画を立てることによって、効率的に仕事を進められているように思う。

② 教職員の業務の効率化

素早く業務の効率化を図れそうなものとして、金融機関の伝票作成や校内行事の賞状作成等を挙げた。どちらもおおよそテンプレート化されているものの、手書きしていたりデータ編集に手間取っていたりという状態であった。

コロナ禍において在宅勤務をしていた際に、Excelのマクロ、VBAについて独学を始めた。マクロを活用して、「必要なデータの入力」と「実行ボタンを押す」だけで、印刷まで行えるようにした。この効率化によって生まれる時間は大したことはないと思われるが、それ以上に負担を減らせたことへのストレス軽減はできていると思われる。

今後に向けて

課題として2つ挙げられる。1つ目は、自分自身のスキル向上である。自分がVBAで出来ることはまだまだ限られている。業務の合間を見つけては自己研鑽をしていきたい。

2つ目は、ツールだけにとらわれず様々な方法での業務改善に取り組むことである。ツールに頼らずとも効率化できる物事はあるはずなので、アンテナを張って日々の業務に取り組みたい。

あくまでも業務の効率化はゴールではない。効率化によって生まれた時間を、教育現場の充実にいかしていき、最終的には子どもたちの環境を整えることが大事だと思う。これが実現できるよう、最初のステップとして引き続き業務の効率化に努めていきたい。